

# 1 概 況

令和4年平均佐賀市消費者物価指数は、令和2年を100とした総合指数で101.6となり、前年に比べ(+) $2.2\%$ の上昇となった。

なお、総合指数は、平成25年から令和2年は上昇、令和3年は下落、令和4年は上昇となった。

(1) この1年間における総合指数の動きを月別に前年同月比で見ると、1月は通信、家賃などの値下がりにより(-) $0.2\%$ の下落、2月は電気代、自動車等関係費などの値上がりにより(+) $0.1\%$ の上昇、3月は電気代、野菜・海藻などの値上がりにより(+) $0.6\%$ の上昇、4月は電気代、設備修繕・維持などの値上がりにより(+) $2.5\%$ の上昇、5月は設備修繕・維持、電気代などの値上がりにより(+) $2.6\%$ の上昇、6月は設備修繕・維持、電気代などの値上がりにより(+) $2.6\%$ の上昇、7月は設備修繕・維持、電気代などの値上がりにより(+) $2.4\%$ の上昇、8月は設備修繕・維持、電気代などの値上がりにより(+) $2.7\%$ の上昇、9月は設備修繕・維持、電気代などの値上がりにより(+) $2.5\%$ の上昇、10月は電気代、設備修繕・維持などの値上がりにより(+) $3.4\%$ の上昇、11月は電気代、設備修繕・維持などの値上がりにより(+) $3.3\%$ の上昇、12月は設備修繕・維持、電気代などの値上がりにより(+) $3.8\%$ の上昇となった。

(2) 10大費目指数の動きを前年比で見ると、「食料」は調理食品、外食などの値上がりにより(+) $4.0\%$ 、「住居」は設備修繕・維持の値上がりにより(+) $1.6\%$ 、「光熱・水道」は電気代、ガス代などの値上がりにより(+) $8.8\%$ 、「家具・家事用品」は家事雑貨、家庭用耐久財などの値上がりにより(+) $0.6\%$ 、「被服及び履物」はシャツ・セーター類、洋服などの値上がりにより(+) $1.8\%$ 、「保健医療」は医薬品・健康保持用摂取品、保健医療用品・器具の値上がりにより(+) $0.2\%$ 、「交通・通信」は通信の値下がりにより(-) $1.7\%$ 、「教育」は授業料等、補習教育などの値上がりにより(+) $0.4\%$ 、「教養娯楽」は教養娯楽用品、教養娯楽サービスなどの値上がりにより(+) $2.2\%$ 、「諸雑費」は他の諸雑費、身の回り用品などの値上がりにより(+) $1.6\%$ となった。

## (3) 近年の総合指数の動き(前年比)

平成27年	他の光熱、自動車等関係費などの値下がりがあったものの、履物類、果物などの値上がりにより(+) $0.9\%$ の上昇。
平成28年	自動車等関係費、電気代などの値下がりがあったものの、設備修繕・維持、野菜・海藻などの値上がりにより(+) $0.2\%$ の上昇。
平成29年	通信、野菜・海藻などの値下がりがあったものの、自動車等関係費、電気代などの値上がりにより(+) $0.4\%$ の上昇。
平成30年	通信、家賃などの値下がりがあったものの、自動車等関係費、野菜・海藻などの値上がりにより(+) $1.1\%$ の上昇。
令和元年	野菜・海藻、通信などの値下がりがあったものの、設備修繕・維持、電気代などの値上がりにより(+) $0.3\%$ の上昇。
令和2年	他の諸雑費、自動車等関係費などの値下がりがあったものの、設備修繕・維持、野菜・海藻などの値上がりにより(+) $0.2\%$ の上昇。
令和3年	自動車等関係費、家賃などの値上がりがあったものの、通信、野菜・海藻などの値下がりにより(-) $0.6\%$ の下落。
令和4年	通信、家賃などの値下がりがあったものの、電気代、設備修繕・維持などの値上がりにより(+) $2.2\%$ の上昇。